

タジキスタン共和国 AI 評議会議長との面談

日時：2025 年 4 月 25 日（金）12:00～

場所：ROTOBO 会議室（+Zoom）

参加者：

タジキスタン側

アジズジョン・アジミ（Azizjon AZIMI） タジキスタン共和国 AI 評議会議長

イブラヒム・ゴジエフ（Ibrahim GOZIEV）在日タジキスタン共和国大使館二等書記官

日本側

鈴木恭一 ROTOBO 専務理事

輪島実樹 ROTOBO ロシア NIS 経済研究所副所長／部長

中馬瑞貴 ROTOBO ロシア NIS 経済研究所主任（オンライン）

面談概要：

●AZIMI 議長

- ・ タジキスタンは 2022 年に AI に関する国家戦略を中央アジアで最初に策定した（注一「2024 年までのタジキスタン共和国 AI 発展戦略」（2022 年 9 月 30 日採択））。それ以来、合成データの R&D などに特に力を入れている。ここ数年間、合成データの重要性が増している中、タジフスタンは、AI モデルの改善に合成データを適用するパイオニア国の 1 つとなっている。
- ・ 私自身、米国のスタンフォード大学で MBA を取得し、Zypl AI という会社を立ち上げた。Zypl AI という会社は、銀行のリスクモデルを改善するために合成データを導入している。米国、インドネシア、カタール、サウジアラビアなどの大手銀行を含む世界 20 カ国 60 以上の銀行が、信用スコアリング、不正検出、予測を改善するために当社の合成データを使用している。
- ・ 今回の訪日で、日本は今後数年、我々にとって非常に重要な市場となるように感じている。
- ・ 私たちはタジキスタンの AI アカデミーでも多くの取り組みを行ってきた。今年はパイロット校で AI 入門を必修科目として導入する予定であり、2027 年からはタジキスタンのすべての学校で AI が主要科目として導入されることになっている。
- ・ タジキスタンでは世界最大の水力発電所を建設しているが、政府は 5 年間で 1 GW の水力発電エネルギーを AI 産業に割り当てることを計画している。ここに日本との協力の可能性があると考えている。例えば、最近、NTT データがインドにある大規模な GPU クラスターに投資をしたと聞いた。我々も AI コンピュータ用のデータセンターを提案することができる。というのも、タジキスタンでは 1kWh 当たり 5 セントというかなり安い価格で電力を提供できるからだ。

- ・ 私たちはグリーンなエネルギー資源である水力エネルギーを豊富に持つ。日本はグリーンエネルギーの世界的リーダーである。
- ・ タジキスタンはAIの自主規制という点でもパイオニアである。日本と似た非常に興味深い哲学を持っていて、政府はAI産業を規制していない。民間企業が、最先端のモデル研究、モデルテスト、トレーニング、推論を自由に行っている。
- ・ 国連で、中央アジアを世界初のAI自主規制を導入する地域として認める決議があり、その決議の一環として今年末までにタジキスタンの首都ドゥシャンベが中央アジアのAI地域センターの拠点となる予定である。タジキスタンは中央アジアにおけるAIのリーダーであるということ、そして、合成データの研究開発、AIソフトウェアの輸出、AIコンピューティングのための十分な水資源など、非常に急速に成長しているということをお伝えしたい。
- ・ ROTOBOは日本のたくさんの民間企業とのつながりを持つので、AI産業に関して協力ができればと思っている。
- ・ タジキスタンにある約40の高等教育機関のうち7つ大学がAI関連学部を導入しており、学生たちが機械学習、ディープラーニング、コンピュータビジョン、自然言語処理を学んでおり、そしてその数は拡大している。
- ・ また、国内には数100人のAIエンジニアがいる。
- ・ 2027年にはAIを学校の必修科目として導入するという構想がある。将来的には何千人、もしくは何万人ものAIエンジニアが誕生する。なぜなら、タジキスタンの大学に入学するすべての学生が、アルゴリズムの仕組み、モデルのトレーニング方法、モデルの検証方法など、AI業界における仕組みを理解するようになるからだ。
- ・ 現在、タジキスタンには金融や行政サービス、研究開発など様々なジャンルのAI企業が10社ある。
- ・ 主な資金源は政府ではなくベンチャーキャピタル。例えば、我々のスタートアップであるZypl AIは、Carbide Venturesを含む海外のベンチャーキャピタルファンドから約1,000万ドル（正確には944万ドル）を調達した。これはCarbide Venturesにとって初の中央アジア投資となった。Carbide Venturesはシリコンバレーのベンチャーキャピタルファンドで、主な投資家は日本の銀行である。もう1つの我々のAI産業界の投資家はオランダ・アムステルダムに拠点を置く、巨大なテックカンパニーの1つProsusである。ProsusはTencentの親会社でZypl AIの最大の投資家でもある。
- ・ タジキスタン政府は現在、特別なAIテクノパークの設置を進めているところで、来年完成予定になっている。AI企業に対する優遇税制を導入し、企業が自主規制を導入する予定。ここに参入してもらうべく、UAEの企業と交渉を進めているところ。日本の富士通のような大手企業もぜひ招待したい。
- ・ Eコマース企業に魅力を見出している。例を挙げると、ドゥシャンベにデータセンターを設置するためにTencentと話をしている。同社はEコマース、デリバリーオーダー

ーなど様々なアプリを開発していて、毎日約 10 億人のユーザーが使用している。その Tencent がドゥシャンベにデータセンターを開設すれば、安価なグリーンエネルギーにアクセスできるようになる。日本で言えば、富士通、NTT データ、楽天などが関心を持つかもしれない。

- ・ 大使館と協力して、タジキスタンの AI 産業に関する資料を提供したいと思う。
- ・ 10 月にドゥシャンベで大規模な AI カンファレンスを実施予定（オンラインとオフライン）なので、招待したい。